

1 石狩中学校 ESD の特徴

本校は、広い意味での「地域」を活動テーマとして、ユネスコスクールが重点的に取り組む3つの分野を通して「持続可能な社会づくりに関わる課題を見だし、それらを解決するために必要な能力や態度を身に付けることを通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養う」ことを目標に学習活動に取り組んでいる。

また、留意点として、①現代的課題を「地球規模」・「地域」の両視点から捉える。②自己の生き方、あり方とより良い社会の構築を関連づけて考える。③持続可能な社会の構築に向けて自己のできることに加え、社会参加・参画の必要性を理解し、行動に移そうとする。以上の3点を共通のおさえとしている。

2 活動事例

総合的な学習の時間において「持続可能な地域社会」を全学年共通テーマとして学習しています。その教育活動の一環として、ユネスコスクールが重点的に取り組む3つの分野を通して「持続可能な社会づくりに関わる課題を見だし、それらを解決するために必要な能力や態度を身に付けることを通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養う」ことに取り組んでいる。

【第1学年】「地域の魅力」		【第2学年】「地域の現状」		【第3学年】「地域の未来」	
<ul style="list-style-type: none"> 石狩海岸の環境学習 石狩の産業学習 		<ul style="list-style-type: none"> 地域社会の現状 都市の循環型社会と省エネ環境の取組 		<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題と未来 首都圏の省エネ、環境の取組 	
3	すべての人に健康と福祉を	7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	9	産業と技術革新の基盤をつくろう
11	住み続けられるまちづくりを	12	つくる責任つかう責任	14	海の豊かさを守ろう
				15	陸の豊かさも守ろう

他には、生徒会主催の取組として小中連携教育の一環として「いじめ撲滅集会」を開催している。中学校区3校（本校、石狩八幡小学校、生振小学校）の児童会生徒会が主体となり、いじめ（人権や差別）について対話を通して深く考えた。また、小中地域合同防災教室に加え、開発途上国の貧困対策や子どもの命を救うワクチン支援の為に「ペットボトルキャップ回収」も石狩八幡小学校と連携して実施したり、共生社会の担い手の育成の観点から「手話教室」を開催したりしている。

昨年度、「アンネのバラ」を鉢植えから校門前花壇に移植し、地域の方にも御覧いただけるように工夫している。

【生徒会中心の実践】	【手話講座】（全学年）
<ul style="list-style-type: none"> ◆アンネのバラの育成（人権・平和・共生・異文化理解） ◆ペットボトルキャップ・書き損じハガキ回収（貧困・医療） ◆いじめ撲滅集会（小中連携教育） 	<p>地域社会の一員として、障がいの有無に関わらずコミュニケーションを行うことや困っている時に手助けできる力を身に付けています。</p> 

3 成果と課題

いじめ撲滅集会と地域防災訓練に加え、開発途上国の貧困対策や子ども命を救うワクチン支援の為に「ペットボトルキャップ回収」を石狩八幡小学校と連携したボランティア活動として実施することで、「ユネスコスクール」としての活動を中学校区の小中連携教育として普及させることができています。成果として、地域一体としてのユネスコスクールの取組になりつつある。

また、既にユネスコスクールに登録されている生振小とも小中連携教育を進めているが、次年度以降、ユネスコスクールの取組についても、同様に連携が図られるとより効果的であると感じる。

4 活動全体計画

令和7年度 総合的な学習の時間 全体計画案 石狩市立石狩中学校



- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 中学校学習指導要領
- 北海道、石狩管内、石狩市の教育目標・方針

- 地域や学校の実態
- 生徒の実態
- 石狩中学校の歴史・伝統
- 社会の要請
- 教職員の願い
- 保護者や地域の願い

学校教育目標

「人間として美しいものを美しいと感じることのできるような人間を育てるために」

- ◎心身共に健康でよく考える生徒
- ◎互いに認め合い協力し合う生徒
- ◎自ら進んで実行し最後までやり抜く生徒

総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を以下の通り育成することを目指す。

SDGs「持続可能な開発目標」の推進

持続可能な世界を実現するために、17の目標と169のターゲットから構成された目標。（2015年～2030年の実施を国連総会にて決議）

ESD「持続可能な開発のための教育」の推進

私たちとその子孫たちが、この地球上で生きていくことを困難にするような問題をについて考え、立ち向かい、解決するための学び（2005年～2014年での実施を国連総会にて決議）（ESD: Education for Sustainable Development）

※6つの概念
多様性、相互性、有限性、公平性、連携性、責任性

ESDで育みたい力

- ・多面的・総合的に考える力
- ・批判的に考える力（代替案）
- ・未来を予測して計画を立てる力
- ・コミュニケーションを行う力
- ・つながりを尊重する態度
- ・他者と協力する態度
- ・進んで参加する態度

石狩中のユネスコスクールとしてめざす生徒像

◎「持続可能な社会づくりに関わる課題を見だし、それらを解決するために必要な能力や態度を身に付ける」ことを通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養う。

※持続可能な社会とは：循環型社会・低炭素社会・自然共生社会



「総合的な学習の時間」各学年の内容

全学年共通テーマ「持続可能な地域社会」

	1年テーマ「地域の魅力」	2年テーマ「地域の現状」	3年テーマ「地域の未来」
学習内容	地域学習 「石狩市を知る・伝える」	地域学習 「隣接地域と比較して深掘りする」	地域学習 「地域の未来を提言する」
キャリア学習	「地域の産業：働くを知る」	「職業体験：将来を展望する」	「進路設計：生き方を考える」
ねらい	地域学習 地域の産業や環境の実態を知り、主体的に地域の魅力をまとめ、伝える力を育む	地域学習 身近な他地域との産業などの比較により、地域の課題を多角的に捉える力を育む	地域学習 持続可能な地域を構築するための考えを確実に表現できる力を育む
キャリア学習	校外学習を通して、社会生活に必要なこと、働くことの意味を探究する力を育む	キャリア学習 職業体験学習を通して、自己理解を深め、将来を展望する力を育む	キャリア学習 進路学習を通して、将来の進路設計を行う力を育む
活動内容・探究型	<p>オリエンテーション 1 全50</p> <p>1. 「地域の魅力」 20 ○石狩の環境 ・石狩海岸の海浜植物や石狩浜の実態調査を通して石狩市の環境に関する課題や対策について探究的に学習する。（石狩浜学習） SDGs14, 15 ○石狩の産業 ・石狩湾新港や石狩市が目指している未来に関わる施設などを見学する。（産業学習） SDGs7, 9</p> <p>3. 「まとめ・発表」 19 ・石狩の良いところを洗い出し、対話を通じて魅力の伝え方を考える。 ・地域を多角的に捉えながら課題を見つけ、よりよい地域の未来についてのアイデアを提案する。 ・以上の内容をまとめ、発表する（まとめ学習・文化祭発表） SDGs17</p> <p>3. キャリア学習 9 「校外学習：働くを知る」 SDGs8 ※校外学習以外は全て学活を要として実施</p> <p>まとめ・振り返り 1</p>	<p>オリエンテーション 1 全70</p> <p>1. 「地域社会の現状」 27 ・持続可能な社会に向かうための課題について、循環型社会を視点にエネルギーや資源・ゴミについて探究的に学習する。（調べ学習） ・札幌市の施設などを訪問し、省エネ、環境への取組などについて学習する。（札幌市自主研修） ・他地域の「循環型社会と省エネ」を探り、石狩市との比較を行う学習をする（現地学習【札幌】）。 ・地域の課題を主体的に見出し、来年度に向けての学習課題を明確にする。 SDGs7, 12</p> <p>2. 「まとめ・発表」 19 ・札幌市と石狩市を比較しながら良い点や課題をまとめ、石狩市のよりよい循環型社会のあり方について提案し、発表する。（まとめ学習・文化祭発表） SDGs17</p> <p>3. キャリア学習 20 「職業体験学習：将来を展望する」 SDGs8 ※職業体験以外は全て学活を要として実施</p> <p>まとめ・振り返り 3</p>	<p>オリエンテーション 1 全70</p> <p>1. 「地域の課題と未来」 26 ・持続可能な地域の構築のために「共生」「防災」「福祉」などを視点に地域・行政を交えて学習する。安心・安全で誰もが住みやすい地域を追究しながらアイデアを提案する。（調べ学習） ・首都圏の施設などを訪問し、防災、観光、省エネ、環境への取組などについて学習する。（現地学習【東京】） ・これまでの地域学習を総括し、地域の未来を提言するとともに自分自身が地域に貢献できることを考え、行動する。 SDGs3, 11</p> <p>2. 「まとめ・発表」 19 ・首都圏と比較しながら石狩市の未来を考え、安心安全で誰もが住みやすい地域を追究しながらアイデアを提案し、発表する。（まとめ学習・文化祭発表） SDGs17</p> <p>3. キャリア学習 23 「進路設計：生き方を考える」 SDGs8 ※進路設計以外は全て学活を要として実施</p> <p>まとめ・振り返り 1</p>

※評価規準・評価の観点とは別紙

◎各教科、道徳、特活、学校行事（防災教室、手話講座）、地域、NPO各種団体、自治体との関連を図る

◎小学校の総合的な学習の時間との系統
テーマ「ふるさと探検隊（地域学習）」

◎生徒会：「平和・人権・異文化理解」の取組、「アンネのバラ」育成など（文化部）